

看護生涯教育・研究センター 継続教育部からのお知らせ

2025年度広島県看護協会研修一覧（タブロイド判・ホームページ）はご覧になりましたか？

研修を選ぶ際は、次の項目を参考にしてください。

研修分類

本会は6つの分類に基づいて研修を提供します。

分類 1	専門職としての活動の基盤となる研修 習熟段階や活動の場、役割等を問わず、すべての看護職の活動の基盤となる研修
分類 2	看護・医療政策に関する研修
分類 3	人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修 看護職の主体的な学びを支援する者の育成・支援を目的とした研修
分類 4	看護管理者を対象とした研修 看護管理者としてより良く働くための環境整備に必要な労務管理に関する知識をはじめ、組織管理等に関する研修
分類 5	資格認定教育 認定看護管理者教育課程に関する研修
分類 6	看護職能団体としての研修等 看護職能団体としての諸課題を追求し、看護職能としての機能性を高めるための研修

看護実践能力（すべての看護師に求められる能力）

これから自分はどうな能力を向上していきたいか、研修を選択する目安となります。

※「看護師のまなびサポートブック」P27～28

専門的・倫理的・法的な実践能力

- アカウンタビリティ（責務に基づく実践）
- 倫理実践
- 法的実践

リーダーシップとマネジメント能力

- 業務の委譲/移譲と管理監督
- 安全な環境の整備
- 組織の一員としての役割発揮

看護実践能力

臨床実践能力

- ニーズをとらえる力
- ケアする力
- 意思決定を支える力
- 協働する力

専門性の開発能力

- 看護の専門性の強化と社会貢献
- 看護実践の質の改善
- 生涯学習
- 自身のウェルビーイングの向上

看護実践能力習熟段階

今の自分、目指したい自分の段階を確認しましょう。

※「看護師のまなびサポートブック」P36～39

新人	必要に応じ助言を得て実践する
I	標準的な実践を自立して行う
II	個別の状況に応じた判断と実践を行う
III	幅広い視野で予測的に判断し実践を行い、ロールモデルとなる
IV	より複雑な状況において創造的な実践を行い、組織や分野を超えて参画する

広島県看護協会史5を発刊！

公益社団法人広島県看護協会は75周年を迎え、このたび、広島県看護協会史5を発刊いたしました。

協会史5では、関係各位からの祝辞、過去10年間の当協会活動概要に加え、災害支援、新型コロナウイルス感染症対策等に関する資料を掲載しています。



食～ひろしまが育む風景～ 表紙の写真／日本の原風景、井仁の棚田

広島県安芸太田町にある井仁の棚田は、日本の美しい原風景のひとつです。山あい広がる階段状の田んぼは、長い年月をかけて作られ、今も地域の人々によって守られています。四季折々の景色も魅力です。春は水面に空が映り、夏は稲の緑が広がります。秋には黄金色の穂が揺れ、冬は雪に包まれる幻想的な光景が見られます。美しい風景は訪れる人々の心を和ませ、癒してくれます。先人たちの知恵と努力が息づくこの棚田には、どこか懐かしく温かみのある魅力があります。自然と人の営みが織りなす風景を、ぜひ訪れて体感してみたいはいかがでしょうか。（望月 ひとみ）

広島県看護協会報 看護ひろしま

4月号／260号
発行 2025年4月
発行所 公益社団法人 広島県看護協会
〒730-0803
広島市中区広瀬北町9-2
TEL:082-293-3362
発行責任者 山本 恭子

編集 広報委員会
制作 有限会社バル

令和7年度事業計画

訪問看護出向事業/助産師出向支援導入事業
がんばる宣言！

【保健師コーナー】
行動変容を促すためのナッジで後押し

【看護師コーナー】
いきいきと働き続けられる職場づくり

【助産師コーナー】
アドバンス助産師の新規更新申請
つなごう看護の手

【社会経済福祉委員会コーナー】
未然に防げた成功事例を活かしていますか？
DXを用いたベッドサイドケア

[Information]
看護生涯教育・研究センター継続教育部からのお知らせ

広島県看護協会HPはこちら



会員数／合計17,159人
(令和7年4月1日現在)

公益社団法人 広島県看護協会 令和7年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業を推進していくために、定款第4条に沿って以下の事業を行います。(下線は新規事業)

重点事項

- ① 看護職の人材確保と定着推進
- ② 地域包括ケアシステムの強化に向けた取組の推進
- ③ 災害等看護支援体制の整備及び対応力の強化

I

公益目的事業

看護の質の向上に関する事業

専門分野における最新の知見等の情報を発信し、医療現場等における看護の質向上を図る。

- ① **看護の専門性の強化と生涯学習の支援**
 - 生涯学習支援の推進
 - ・新人看護職員研修、専門職としての活動の基盤となる研修、専門看護師・認定看護師等の活用、看護管理者・看護指導者の育成研修
 - ・認定看護管理者教育課程
 - 看護研究活動の支援
 - 図書サービスの充実
- ② **保健師・助産師・看護師職能に関する活動**
 - 保健師職能の活動 保健師職能研究会等
 - 助産師職能の活動 助産師職能研究会等
 - ・助産師出向支援
 - 看護師職能の活動 看護師職能研究会等
 - 三職能の連携強化 三職能合同研究会の企画・運営
 - 日本看護協会職能委員会との連携
- ③ **医療安全対策の推進**
 - 医療事故防止取り組みの推進
 - 医療安全管理者の養成等

III

公益目的事業

看護職の人材確保と定着推進に関する事業

行政や関係機関と連携し、ナースセンターの活用（求職・求人相談、就業斡旋）促進、ハローワーク等での出張相談、未就業の看護職を対象とした復職のための研修実施やセミナー及び看護職員の働き続けられる職場づくりの支援等を行う。

- ① **ナースセンター事業の推進**
 - 再就業促進事業
 - ・就業相談会の開催
 - 看護職員復職支援事業
 - ・協力病院及び協力訪問看護ステーションにおける実践研修・事前研修
 - 看護職員確保対策推進事業
 - ・県東部地域の相談体制の推進
 - ・早期離職者就業促進（お休みナースのゆっくりカフェ）
 - ・看護職離職時等届出の推進
- ② **ワークライフバランス推進事業**
 - 働き続けられる職場環境づくりの支援（広島県版自己点検ツール「チャレンジ」実施、アドバイザー派遣等）
 - 相談体制の充実
- ③ **看護に関する相談支援の充実**
 - 看護なんでも相談

II

公益目的事業

調査研究及び看護制度等の提言に関する事業

日本看護協会や関係行政等が実施する調査への協力を含め、看護実践に根ざした看護に係わる調査等を実施する。

- ① **看護に係る実態調査等の実施**
- ② **日本看護協会等関係機関・団体の調査への協力**
- ③ **看護制度及び看護業務の改善等に関する情報提供**
- ④ **看護関連政策の充実**

IV

公益目的事業

在宅ケアの推進及び地域住民の健康増進に関する事業

ケアを必要とする県民が安心して在宅療養ができるよう多様なニーズに対応する訪問看護サービスを提供するため、医療機関、行政等との連携強化を図り、訪問看護ステーションにおける看護サービスの向上を図る取り組みを行う。また、支部が中心となり県民の健康な生活を実現するために、関係機関等と連携し、地域住民の健康維持・増進の普及啓発を目的として「まちの保健室」等を開催する。

- ① **協会立訪問看護ステーション等事業の推進**
(訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、及び広島市から委託を受けた地域包括支援センター)
 - 経営基盤の強化（訪問看護ステーションの大規模化等）
 - 地域の多様なニーズに対応できる訪問看護の提供
 - ・24時間訪問看護体制の充実
 - ・医療依存度の高い在宅療養者及び家族への支援
 - ・ICTを活用した業務効率化の推進
 - ・専門性の高い看護師の育成・活用
 - 地域における多職種との連携強化
 - ・在宅医療介護連携の推進
 - ・地域の訪問看護ステーションとのネットワーク構築
 - 関連施設の管理
 - ・己斐センターの移転
- ② **在宅医療の人材確保のための推進事業**
 - 訪問看護師育成支援
 - ・「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成研修等
 - ・訪問看護師指導者育成研修
 - 訪問看護版インターンシップ
 - セカンドキャリアの活用
 - ・プラチナナース支援研修
- ③ **地域看護連携の推進**
 - 医療機関と訪問看護ステーションとの看護師相互交流派遣研修
 - 病院から訪問看護ステーションへの出向
 - 退院支援・退院調整看護師の育成及び連携
- ④ **県民への健康増進事業の推進**
 - ・健康増進・介護予防に関する活動（まちの保健室等）
 - ・子育て支援に関する活動
 - ・小児救急医療電話相談（#8000）

V

公益目的事業

看護の普及啓発に関する事業

毎年、5月12日を中心に行われる「看護週間」関連事業をとおして、看護職や県民が看護に関する関心と理解を深められるよう看護の魅力や重要性を伝える。

- ① **「看護の心」普及啓発事業**
 - ひろしま看護フェスタ2025（会場：広島国際会議場 5/18）
 - 進路相談会
 - ふれあい看護体験
 - 看護の出前授業
- ② **看護広報事業**
 - 機関紙、ホームページ等の活用

VI

公益目的事業

災害支援、健康危機支援に関する事業

県内外で災害が発生し行政等から看護職の派遣要請を受けた場合に対応できるよう、体制及び環境の整備を行う。また、健康危機に対しては、関連する情報収集及び発信を行い医療関係者として必要とされる研修会等を実施する。

- ① **災害等看護支援体制の充実**
 - 災害時看護支援体制の整備（健康危機管理委員会の設置）
 - 災害支援ナースの養成研修、災害支援ナース養成のための指導者育成
 - 日本看護協会、行政機関及び他関係機関等と連携した支援活動
- ② **健康危機に関する支援**
 - ・健康危機に関する情報収集と発信及び支援
 - ・感染管理認定看護師等の派遣に係る体制の整備

VII

公益目的事業・収益事業等・法人管理事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業運営に必要な会議の開催や行政機関及び関連団体等の活動に協力し、他職種と連携しながら公益活動を行う。会員支援については、看護管理者を対象にした研究会の実施を継続するとともに会員の福利厚生及び本会規程に基づく奨学助成を実施する。

【諸会議の開催・支部活動及び会員支援に関する事業等】

- 通常総会：年1回
- 理事会：年6回程度
- 常任理事会：月1回
- 監査：年5回
- 支部長会：年3回
- 職能委員会・常任委員会：月1回
- 広島県看護協会将来構想検討委員会
- 支部総会：年1回
- 看護管理者（看護管理者、中間看護管理者）研究会
- 会員のための福利厚生（各種表彰候補者の推薦、慶弔、奨学助成等）
- 広島県看護協会会館の管理・運営
 - ・適正な財産管理
 - ・会館の維持管理、会館機能の充実

広報委員会から「看護ひろしま」に関するお知らせです！

広報委員会委員長 河合 由美子（医療法人社団 日本鋼管福山病院）

発行回数が変わります！

令和7年度から年6回から4回の発行に変更となります。各号12ページの構成でお届けします。



表紙「人」に注目！

令和7年度から表紙のテーマが「食」から「人」に変更となります。令和6年度に実施した会員へのアンケート調査では「職場紹介」など、身近な人が掲載された記事に関心が高い結果となりました。人が掲載された表紙は、読み手の視線を引きつけ、手に取る機会を増やせると考え、テーマを「人」に決定しました。そこで、私たちと広島県看護協会の架け橋となり、支えてくださる11支部の役員の方々に表紙を飾っていただきます。8月号からリニューアルしますので楽しみに！

訪問看護出向事業

広島県看護協会事業部

地域包括ケアを推進していくうえで、在宅療養を支える訪問看護には大きな期待が寄せられています。

この事業は、病院の看護師が一定期間（概ね3か月）、地域の訪問看護ステーションに出向し、訪問看護の一連の業務を実践することにより、在宅療養支援能力の向上を目指します。そのことで、病院と訪問看護ステーションの連携が促進されるだけでなく、病院および出向者にとっては看護ケアや退院支援機能の強化に役立つスキルが獲得でき、患者が早期に安心して在宅療養に移行できます。また、訪問看護ステーションにとっては多様な看護人材の育成・活用等の向上が図れます。

令和6年度は1例の出向がありました。



病院から在宅へ つなぐ看護

出向者の立場から



3か月間で210件の訪問看護を経験し、医療依存度が高い方や認知機能が低下している方など多様なニーズを抱えている利用者に関わりました。また、利用者が資源を活用しながら安心して在宅で過ごすために、医療処置が必要な状態で基幹病院から退院する利用者の退院前カンファレンスに参加し、利用者や家族のセルフケア支援や在宅の環境調整などを行いました。3か月の出向を通して、基幹病院から在宅医療へ移行する際は、自宅で過ごす利用者の状況を理解した上で調整を進めることが重要であることを改めて痛感しました。今後は、患者家族の「自宅で過ごしたい」という願いを実現するために、病院から在宅へ切れ目のない医療・看護が行えるよう、退院支援の強化に取り組んでいきます。



前列中央が大石さん

出向事業受け入れの成果

受け入れ側の立場から



昨年同様、広島大学病院からの出向事業の受け入れを行いました。

様々な病態を持つ利用者への訪問から、個別性に配慮したケアや指導、多職種との連携調整を学んでいただけるように訪問を調整し、退院前カンファレンスから主担当として関わっていただくことで、退院までに確認すべき視点について伝えていきました。

受け入れ側の成果として、同行訪問を重ねることで早期に1人で訪問することができるようになり、マンパワー不足を補うこともでき、とても助かりました。また、糖尿病看護認定看護師でもある出向者の大石さんからの指導を受けることで、職員の知識の向上にもつながりました。出向事業を受け入れての学びを、今後の人材育成にも活用していきたいと考えています。



3か月間の学びを発表する大石さん。iPadのteamsで資料を共有しています。

助産師出向支援導入事業

広島県看護協会事業部

急速な少子化の進展は、助産師の育成にも大きな影響を及ぼしています。分娩件数の減少により、周産期母子医療センターや総合病院では、昨年の助産師1人当たりの年間分娩介助件数は平均11.2件で、自施設だけで分娩介助技術の研鑽を積むことが難しくなっています。また、病棟の混合化が進み、産科以外の業務が増えることで、助産師としてのモチベーションの維持が難しい状況も生まれています。

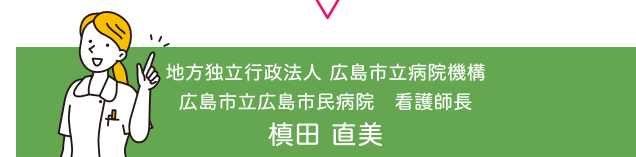
本会では、平成28年より助産師出向支援導入事業を実施し、令和6年度は、助産師5人が、助産実践能力の強化目的で診療所に出向しました。

広島市民病院（広島市中区）では、助産師の継続教育の一環として、令和3年から舩本産婦人科医院（広島市安佐南区）に出向しています。



出向事業から得られた効果

管理者の立場から



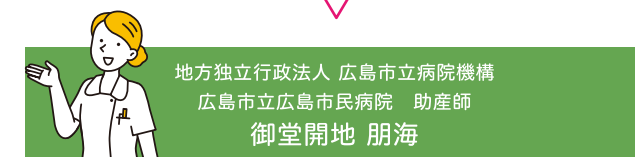
近年、分娩件数が減少する一方で、ハイリスク妊産婦の割合が増加しています。そのため、正常分娩件数が減少し実践能力にも影響が出ています。そこで、助産実践能力の向上と地域の産婦人科医院との連携強化の機会と捉え事業に参加いたしました。出向先では分娩進行中の産婦への介入や分娩促進援助など多くの事例に関わらせていただきました。分娩介助の楽しさや喜びを実感したと同時に、助産実践力の向上にも繋がったと感じています。出向後は学びを還元し、地域との連携強化に向けてリーダーシップを発揮しています。今後も事業の継続により、個々の実践能力の向上と、地域の産婦人科医院との連携を強化し、総合周産期母子医療センターとしての役割を果たしていきたいと考えます。



出向先の舩本産婦人科医院

出向事業での学びと今後に向けて

出向者の立場から



助産師実践能力を向上するために舩本産婦人科医院へ1か月間出向しました。分娩第1期から出産まで担当助産師として22例の直接介助を実践することができました。また、分娩促進ケアを学び、実践・評価することができ、助産師になって初めて分娩に関わることが楽しいと感じることができました。事例ごとに分娩介助の技術を振り返り、次の事例に活かしたことは、自身の助産実践能力の向上を実感でき、自信にも繋がりました。また、今回の出向を通して「妊産婦のニーズに沿った助産ケアの必要性」を再認識することができました。今後、総合周産期母子医療センターの産科で、妊産婦が満足できる実現可能な分娩について考え、取り組んでいきたいと思っています。



出向中に分娩介助したお母さんと赤ちゃん。右側が御堂開地さん

保健師

推しと一緒に健康づくり

今年のモットーは“普通の中に刺激をプラス!” 決して当たり前ではないと感謝しつつ、普通の生活を送るにはまず健康第一。

そんな私の頼れる推し(?) が元保護犬のリオン(5歳・雌)です。

朝夕夜の1日3回、30分ほど近所の公園や団地内を散歩します。よほどの悪天候でない限り欠かすことはありません。正直ご遠慮したい時もありますが、彼女の笑顔に誘われ、今日も出かけます。



呉市保健所 地域保健課
西保健センター
山上 由紀



暗い道もへっちゃらです

助産師

のびしろ

今年、娘の大学受験があり、一緒に勉強しお互いよい刺激になればと、気持ちを奮い立たせ、諦めかけていたアドバンズ助産師の資格を取得しました。地域周産期母子医療センターで精神科がある強みをいかし、周産期メンタルヘルスケアに力を注いでいます。妊産婦さんが安心して生活を送り、愛情をもって子どもと向き合うことができるように支援し続けたいと思っています。年齢的に夜勤明けの回復力は低下していますが、「美味しいものを食べ・寝る!」これにつきます。推し活のカーブ観戦でエネルギーをもらいながら、今後も産後ケアの充実のために頑張ります。



産後のママとの面談



赤はエネルギーの源

独立行政法人国立病院機構
呉医療センター
屋形 ひろ美

がんばる宣言!

看護師

登山で生活の質向上

患者サポートセンターで入院時重症患者対応メディエーターとして勤務しています。1年前に「登山」に出会い趣味になりました。友人家族と登山を始め、富士山登頂にも成功しました。コミュニケーションの場も広がり、また家族の会話も増えた気がします。充実した日常生活を送ると自然と仕事への活力も湧いてきます。患者さんや家族に寄り添った看護を提供するためにも心の健康を維持し、仕事とプライベートに日々精進していききたいと思います。



広島県の最南端・倉橋島の中央に位置する「火山(ひやま)」の頂上、大岩での撮影です。瀬戸内海に浮かぶ島々や四国山脈の山々を見渡すことができる絶景スポットです

独立行政法人
労働者健康安全機構
中国労災病院
加藤 愛子

准看護師

准看護師親子

昨年娘が同じ職場に准看護師として就職し、仕事の事や看護観について話す事が増えました。新人准看護師として頑張っている姿を身近で見ることができ、母の心配をよそにスタッフの方に可愛がっていただき充実した日々を送っているようです。親子で温泉が好きなので夜勤明けに一緒に温泉へ行き、リフレッシュする事もよくあります。最近は御朱印集めにハマっていて、旅行がてら御朱印を集めています。20代の娘に負けないう頑張ります。



呉市医師会病院
平井 香奈美

保健師コーナー

地域保健・産業
保健フォーラム

行動変容を促すためのナッジで後押しする保健活動

青森大学客員教授、(株)キャンサースキャン顧問の竹林正樹先生を講師にお招きし、「行動を促す保健指導～ナッジで後押し『いつかやろう』を『今やる』に～」をテーマにご講演いただきました。

ナッジについて、津軽弁の柔らかい語り口調で、ユーモアを交え、分



かりやすく教えていただきました。

頭でわかっているけど行動しないのは、自分に都合よく理解する習性「認知バイアス」の影響であることや、認知バイアスを促進する要因や阻害する要因についての話がありました。また、実際にがん検診の受診勧奨チラシを修正するワークも行い、受診したくなるようなタイトルづけや直感的に動かしたくなるシンプルな設計など、多くの大切なエッセンスを学びました。

受講者からは、「明日からすぐ使



竹林正樹先生とフォーラム企画委員

保健師職能委員会
渡邊 梨絵
(福山市保健福祉局 保健部健康推進課)

えそうな内容で、日々の業務の参考になる講演だった」「自分の仕事を振り返る時間にもなり楽しく学べた」「次回も続きが聞きたい」という声が多く、満足度の高いフォーラムとなりました。

看護師コーナー

看護師職能
研究会

いきいきと働き続けられる職場づくり



石田秀朗先生

令和6年11月24日(日)、テキクス株式会社 代表取締役社長 石田秀朗氏を講師にお迎えして、「いきいきと働き続けられる職場づくり」をテーマに研究会を開催しました。参加者27人のうち、約8割が管理職であったことから、働き続けられる職場づくりへの関心の高さがうかがえました。

講演では、スタッフ一人ひとりに関心を持ち、ナラティブを活用した経験の意味づけや、職場で個々のキャリアを知り合い、称え合うしくみをつくる大切さをお話いただきました。

グループワークでは、メンバーが互いに強み・キャリアを知り合い、学び合う職場を作るためのアイデアなどについて検討しました。参加者は、自己が置かれている立場で意見交換し、「悩みを解決する糸口が

看護師職能委員会
埴本 紀枝
(国家公務員共済組合連合会 呉共済病院)

見えた」「スタッフの話をよく聞いて、キャリアサポートしていきたい」などの感想を述べていました。いきいきと働き続けられる職場づくりに向けた取り組みを考える貴重な機会となりました。



アドバンス助産師の新規更新申請

アドバンス助産師とは、助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー/CLoCMiP®）レベルⅢ認証制度に合格した助産師で、妊産褥婦や新生児に安全で質の高いケアを提供できる助産師です。現在、晩婚化や核家族化が加速する中で、助産師のケアを必要とする女性とその家族は増えています。多様化する周産期の現場において、助産師は妊娠期、分娩期、産褥期だけでなく、妊娠前からのプレコンセプションケア、産

後ケアやメンタルヘルスケアなど多方面から支援していく能力が必要になります。また、第8次医療計画の周産期医療では、院内助産や助産師外来の活用により、産科医師から助産師へタスク・シフト/シェアが進められ、助産師の働き方改革が始まり、より専門的な助産ケアが必要とされています。自己のキャリアアップのためにもアドバンス助産師の認証申請・更新をしていきましょう。

助産師職能委員会
嘉藤 桃枝
(独立行政法人国立病院機構
東広島医療センター)



三職能合同
研究会

つなごう、看護の手 ～災害の視点から、連携を考える～

助産師職能委員会
小橋 知加子
(県立広島病院)

令和7年1月25日に三職能が災害時の対応について知識を深め、今後の取り組みと連携について考えることを目的に、広島大学大学院医系科学研究科の加古まゆみ先生をお招きし、令和6年度三職能合同研究会を開催しました。参加者は75名と多く、災害に対する関心の高さがうかがえました。講義では防災と災害活動にかかわる法的根拠や平時からの他職種との連携を見直し、災害に備えることの大切さなどを学びまし



グループワークの様子

た。また、災害時に保健医療福祉システムの中で、三職能が果たす役割についての理解を深めることもできました。グループワークでは平時からつながっている組織やサービスについて意見交換を行いました。研修後のアンケートでは「他施設の方と意

見交換できてよかった」「看護師以外の職種から色々な意見が聞けてよかった」という意見があり、グループワークを通して地域のつながりや他職種と連携を図ることの大切さを共有できた研究会となりました。



加古まゆみ先生

未然に防げた成功事例を活かしていますか？ 皆で気づく力を高めよう

リスクマネジャー
意見交換会



シンポジスト
(左) 因島総合病院 沖 美和
(中) 庄原赤十字病院 福本 雅之
(右) マツダ病院 原田 あいこ

今回の意見交換会は、社会福祉経済委員会副委員長より、SafetyIIについての情報提供を行った後、3名のシンポジストを迎え、自施設での取り組みについて報告がありました。SafetyIIとは、日常のうまくいっている99%の事象に注目し、安全を

高める方法です。シンポジウムでは、事故を未然に防止できたことに対し「ありがとうメモ」で感謝の気持ちを伝えていること、Good事例（0レベル）の紹介やレジリエンス通信を通し、院内で事例を共有しているとの報告がありました。また良い事例に対して報告部署を訪問し表彰状を送る取り組みをされている施設もありました。グループワークでは、「明日から取り組む成功事例の活かし方」について話し合いました。参加者からは「報告書の様式や報告方法の検討」「ポジティブ

社会経済福祉委員会
沖本 祐美
(独立行政法人労働者健康安全機構
中国労災病院)

フィードバック実施」などの意見が挙がりました。いつもうまくいくなかに、様々なレジリエンスが発揮されており、インシデントゼロレベルの報告が大切であることを学ぶことができました。



意見交換後の発表

DXを用いたベッドサイドケア

医療DXの推進にむけてベッドサイドでは何ができていますか。当院は2024年5月新棟開設時に施設整備の一環としてスマートベッドシステム™を導入しました。

このシステムは主要な4つの機能を備えており、これによりベッドサイドケアは変化しています。①情報共有機能としてベッドサイド端末で患

者情報や注意事項の確認ができ、安静度や欠食といった情報をカード等で掲示する必要がなくベッド周囲の環境は整然としています。②バイタルサインの登録機能もあり電子カルテの持参は不要です。③離床キャッチ搭載のベッドを活用し「起き上がり・端坐位・離床」といった患者の離床状況がナースステーションで把握

社会経済福祉委員会
村中 好美
(広島県厚生農業協同組合連合会
広島総合病院)

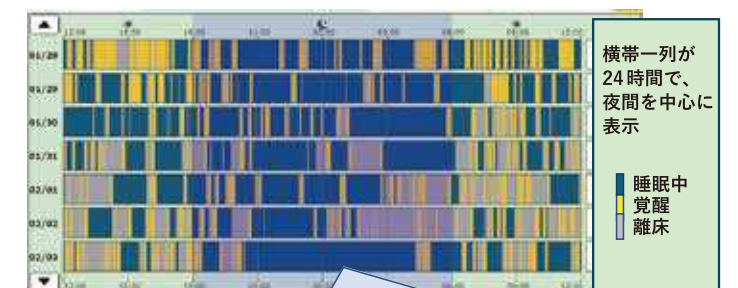
でき転倒・転落対策につながります。④体動センサー機能「眠りSCAN」では、睡眠状態や離床状況、連続した呼吸情報が取得でき、睡眠や使用した薬剤効果の評価に活用できます。今後、導入後の評価を進めながら業務の効率化やタスクシフトの推進につなげられるよう取り組んでいきたいと考えています。

ベッドサイドタブレット



ピクトグラム表示
「安静度」「移動方法」
「飲水の可否」等

眠りSCANの「睡眠日誌」



Aさんは疼痛コントロール中。
睡眠日誌を確認し薬剤調整が行われました。
この日は「質のよい睡眠」がとれているようです。

参議院厚生労働委員会の 視察がありました！

令和7年2月18日、柘植芳文委員長をはじめ参議院厚生労働委員会の皆様が、広島県看護協会に視察に来られました。

本会からは、「看護業務の効率化先進事例アワード2023」で奨励賞を受賞した看護業務の効率化先進事例（「使える」ICTの運用と「新たな」ICTの導入で訪問看護ステーションの業務をもっと効率化する！）等について説明させていただき、意見交換を行いました。



物価高騰に関する要望書提出

食材料費、光熱費等の物価高騰は、国民生活のみならず、医療機関等においても経営に甚大な影響を及ぼしています。

医療機関等の経営が困窮することなく地域医療が堅持できるよう、令和7年1月20日、広島県庁を訪れ、物価高騰への支援を要望しました。

要望団体：広島県医師会、広島県病院協会、広島県精神病院協会、広島県歯科医師会、広島県薬剤師会、広島県看護協会、広島県老人保健施設協議会

事業部からのお知らせ

Instagramはじめました！

「看護の日・看護週間」をはじめ事業部の情報を掲載していきます。フォローお願いします！



hiroshima_kango_jigyobu



会員の皆様へ事務局よりお知らせ

勤務先、住所などが変わったら、 必ず会員情報の変更申請をお願いします！！

●広島県外へ移動される方へ

日本看護協会の会員番号はそのまま、他県看護協会へ引き続きご入会いただけます。キャリアナースで県移動申請はできますが、まずは移動先の県看護協会へお問い合わせください。※年会費や入会金等をお確かめください。
★ご自宅または勤務先のいずれかが広島県内の場合は、広島県看護協会に引き続きご入会いただけます。

キャリアナースは広島県看護協会ホームページか、右の二次元バーコードからアクセスできます。
<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>



会員専用WEBページ「キャリアナース」で会員情報の変更申請ができます。
ぜひご登録ください！

看護職賠償責任保険にぜひご加入を！

「看護職賠償責任保険制度」は日本看護協会会員（開業助産師を除く）のみを加入対象とした任意加入の制度です。非会員の方は加入できません。

① 充実の補償内容

賠償事故、業務中のケガ等による入通院に加え、ハラスメントを受けた場合の法律相談費用・弁護士費用も補償します。

② 安心のサポート体制

本保険制度への加入に関する問い合わせ、看護業務上生じた医療安全にかかわる出来事についてのご相談、万一の事故後のご相談、ハラスメントに関するご相談に迅速に

お応えできるよう、専用のコールセンターなどを設置しています。

③ 選べる加入方法

郵便振替用紙でのお手続きに加えWeb加入手続き（クレジットカード払い）ができます。ご自宅や職場から簡単にお申し込みいただけます。

④ 加入しやすい掛金

1年間で2,650円という、日本看護協会のスケールメリットによる加入しやすい掛金です。※年度の途中からもご加入いただけます。（掛金は補償期間によって変わります）

詳しくは「看護職賠償責任保険」公式ホームページをご覧ください。 <https://li.nurse.or.jp/>



令和7年度広島県看護協会奨学金の募集が始まりました

【募集期間】

令和7年4月1日から6月末日

【奨学生の資格】

広島県看護協会会員であり、卒業又は修了後1年以内に広島県内に看護職として就職し、表の貸与の対象に該当する者

※その他に、「広島県看護協会齊藤利子奨学金」があります。それぞれ詳細は広島県看護協会HPをご参照ください。

貸与の対象		貸与期間	貸与金額
看護系大学院の在学生	修士課程	2年間	月額 50,000円
	博士課程	3年間	
保健師学校養成所・助産師学校養成所の在学生		1年間	月額 20,000円
看護系大学の編入学生(3年次・4年次在学生)		正規の就学年限	月額 30,000円
看護師等学校養成所の在学生	全日制・通信課程	2年間	月額 20,000円
	定時制	1年間(実習期間)	月額 30,000円
日本看護協会が認定した認定看護師教育課程の研修生		1年以内	月額100,000円

お問い合わせ 広島県看護協会総務部 TEL:082-293-3362

令和7年度看護研究倫理審査について

看護研究倫理審査委員会 委員長 後藤 満津子(福山平成大学)

令和7年度看護研究倫理審査を2回(7月頃、9月頃)行います。「看護研究倫理審査の手引き」、申請書類の様式は広島県看護協会ホームページからダウンロードできます。

対 象	本会会員が所属する施設に研究倫理審査委員会等が設置されていない場合で、本会会員が倫理審査の申請者(研究責任者)であり、学会等(本会支部研究発表会を含む)で研究成果を公表する予定の者 ※支部看護研究サポート等で指導を受けている場合、指導者の許可を得て申請ください。
申 請 方 法	「看護研究倫理審査の手引き」をご覧ください。
審査書類受付	①第1回 6月18日(水) 締切 ②第2回 8月20日(水) 締切 (締切日必着)
問 合 せ 先	(公社) 広島県看護協会 看護生涯教育・研究センター 看護研究倫理審査委員会事務局 TEL 082-503-2381



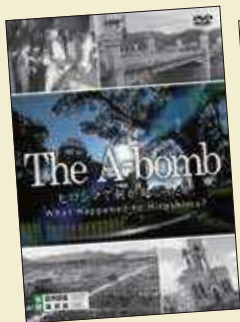
図書室だより

図書室視聴覚資料のご案内

図書室では、現在524巻の視聴覚資料を所蔵しています。
この度新たに購入したDVD6本をご紹介します。

- ① THE A-bomb ヒロシマで何が起きたか
- ② 最新 基礎看護技術シリーズ フィジカルアセスメント編(全5巻)
 - ・フィジカルアセスメントの基本
 - ・呼吸器系のアセスメント
 - ・循環器系のアセスメント
 - ・口腔・咽頭／腹部のアセスメント
 - ・筋・骨格系／脳・神経系のアセスメント

その他、所蔵作品についてはホームページに掲載しています。
是非ご活用ください！



お問い合わせ
広島県看護協会図書・情報管理室
TEL・FAX:082-296-5079
E-mail tosyo@nurse-hiroshima.or.jp

ナースセンターからのお知らせ

看護職の皆様へ届出のお願い

看護師等の免許を有していて離職等された方は、「とどけるん」のサイトから登録をお願いします。

ナースセンターは、届出の情報をもとに、再び医療・介護・福祉の現場に復職できるよう個別に応じた就職活動のサポートをしています。

看護管理者の皆様には、離職される看護職の方に、届出登録の説明と、看護師等の免許を活かし働き続けられるよう支援の言葉をかけていただき、引き続き自施設の離職防止・定着への取り組みをお願いいたします。

登録はこちらへ



誰が届けるの？	・病院等を離職した方(次の仕事が決まっている方も含む) ・就職をしなかった方 ・現在、就業していない方
届出の方法は？	・自分で「とどけるん」にアクセスして登録する。 ・届出用紙に記入し、看護管理者に提出またはナースセンターに送付する。
届出のメリットは？	・eナースセンター(無料職業紹介)の利用 ・復職支援研修等のご案内が届きます。

